

羽田義久君に会う

宮原 豊 (9組)

9月29日の午後に、松尾倶楽部のバス旅行のメンバーと別れ、上田高校同期の羽田義久君(11組、長和町在住)に会いました。

羽田君は「和田中学に羽田兄弟あり」と知られていました、我が青木中学も頑張っていました。男子は和田中に太刀打ちできなかつたです。15歳のころからの60有余年思い出が次から次に脳裏を通り、温泉に浸かっている時も夕食の時も熱い会話は絶えることなく続きました。

その時に、映画『シンペイ 歌こそすべて』が話題にあがりました。音楽の道を目指して信州中野から上京した中山晋平は劇作家・島村抱月の書生になりますが、その相手の大女優・松井須磨子(松代生まれ、本名：小林正子)が羽田君の父方の縁続きであったことなどを教えてもらいながら、映画に出演している晋平の母親役の女優、土屋貴子さん(丸子実業高校卒)のことが話題になりました。

僕は「土屋さんとは会ったことはないが、SNSで友達になっている」と話しました。

「シンペイ」の監督は上田市在住の神山征二郎氏(1941年生)で、長和町映画祭「神山征二郎の世界」は11月17日(日)に第18回目を数えるそうです。神山監督といえば『ハチ公物語』『ひめゆりの塔』『遠き落日』などの名作で知られますが、『ラストゲーム 最後の早慶戦』では最後の早慶戦のシーンは上田城址公園球場で撮影されました。

羽田君は長らく長和町商工会会長を務めていましたので、神山監督とも土屋さんとも親しくしているそうです。この日は、われわれ二人には珍しく映画の話題で盛り上がりました。

翌日は長和町和田の羽田君の(株)日本ウォルナットを訪ね、クルミを活用した様々なビジネスの話をお聞きしました。クルミ殻の微細な粉末を使った研磨剤や化粧品だけではなく、クルミの特性を活かした新しい可能性について説明を受けながら、ワクワクする気持ちを抑えきれずに「すごい、すごい」の感嘆の声を上げ続けました。

羽田君とは不思議な縁があります。遠縁にあたるので和田の羽田兄弟の名前は中学生の頃から聞いていたのですが、彼は中学時代から全国で注目されるバレーボール選手で、高校でもエースアタッカー、大学でもスタープレイヤー。全く違う道を歩いていたのですが、驚いたのは、大学卒業後に就職した会社の入社式でばったり会ったのです。しかし、彼は実業団リーグで活躍し、日本代表の海外遠征もした選手ですから、同じ会社にいながらかなか会う機会もなく、僕は2年半ほど経った頃に中途退社、転職をしました。その後しばらくの間は羽田君に出会うことはなかったのですが、ある時に彼が先代から継いだ(株)日本ウォルナットのクルミ原材料の海外調達のことから相談があったから、交流が始まりました。思い出話もアフリカ、アメリカ、中国、インドなど世界のあちこ

ちに飛びました。

いずれ発表されると思いますが、今、羽田君が温めているプロジェクトが面白そうです。

元々、エコな仕事をされてきたわけで、さらに環境や健康などの問題解決に貢献できる内容なので、もう数年は頑張っ、その道筋をつけてから会社を後継者に譲りたいそうです。

さて、和田から上田方面に向かう途中で、羽田君は急に行き先を変更しました。

何とそこには、映画『シンペイ』に出演している土屋貴子さんがいたのです。羽田君が企んだサプライズです。『シンペイ』は11月22日から長野県内で先行上映が始まり、来年1月10日から全国上映の予定ですが、上映枠は長野県の先行上映の結果次第だそうです。

長野県内の先行上映を盛り上げ、この映画を日本全国の多くの方々に観てもらいたいです。

(2024年10月10日記)

写真上：鹿教湯温泉、斎藤ホテルで羽田君と、下左：羽田君の人工芝新プロジェクト、
下右：土屋貴子さんと映画のポスターを掲げる著者

